

第Ⅲ章 不正事案への対応など

1. 不正事案への対応

(1) 薬物犯罪の取締り

○ 不正な麻薬、大麻、覚醒剤などの薬物犯罪について、取締りを行いました。

① 法令別検挙人員

(関東信越厚生局における令和2年の実績)

麻薬及び向精神薬取締法	17人
あへん法	2人
大麻取締法	62人
覚醒剤取締法	55人
麻薬特例法	23人
医薬品医療機器等法(旧薬事法)	5人
合計	164人

② 管内の特徴等

検挙人員は164人となり前年と比べて減少しましたが、大麻事犯及び覚醒剤事犯の検挙者だけで全体の約7割を占めており、相変わらず大麻及び覚醒剤の乱用が続いている現状にあります。

麻薬取締部では、国内外の関係機関と連携し密輸入事犯を摘発するとともに若者の間で増えている大麻事犯の取締りを強化しています。

(2) 保険医療機関等の指定の取消・保険医等の登録の取消

- 診療内容・診療報酬等の請求において、不正または著しい不当があったことを疑うに足りる理由がある際に、患者への調査・確認を行い、当該事実の確認（監査）を行ったうえで、保険医療機関等の指定取消、保険医等の登録取消といった行政処分を行いました。

① 取消の状況

(関東信越厚生局における令和元年度の実績)

保険医療機関等の指定取消 (取消相当含む)	4 件 (平成30年度 7 件)
保険医等の登録取消	3 人 (平成30年度 7 人)

※ 指定の取消相当とは、保険医療機関等が廃止となっているため行政処分はできないものの、指定の取消の行政処分と同等の取扱いとするものです。

② 特徴等

- ・ 不正内容は付増請求、振替請求がそのほとんどを占めています。
- ・ 取消に係る端緒は、指導を行った際に不正が強く疑われたことによるものです。